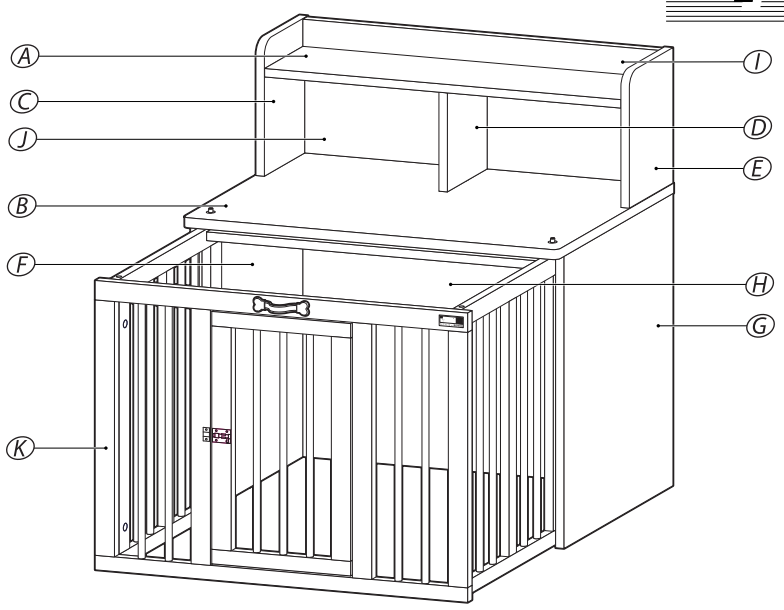
SHIRAI

# 取扱・組立説明書

管理番号　SK813920



S091006-O




※この商品の天板耐荷重は20kg（196N）ですので、その範囲内でご使用下さい。

## ペティリア
## 商品名 PET-9080NA/WH-80

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるよう大切に保管して下さい。

**注意**

**取扱・組立説明書には、商品を正確に組立て、末永くご愛用していただく為の情報が記されております。本紙の指示通り組立て、ご使用して下さい。**

## 《組立て前に下記注意事項を必ずお読み下さい》

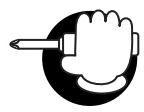
不用意・不適切な組立ては事故につながる恐れがあります

- ●工具等の取り扱いには十分ご注意下さい。
- ●プラスドライバーの先端＋字は、ネジの⊕字と合ったものをご使用下さい。
- ●組立ての際は、商品部材・部品のカドでのケガや、床・壁等、室内をキズつけないようご注意下さい。
- ●組立ての際は、お子さまに注意し広い場所で行って下さい。
- ●組立て手順に従って部材の取付け、ネジ締めなど確実に行って下さい。
  組立て手順が違うと組立てられない場合があります。
  部材の取付け、ネジ締めなどが不十分ですと使用中に製品が破損しケガをする恐れがあります。
  また、まれにネジ締めが固い場合には、家庭用のロウや石鹸をネジに塗ると入りやすくなります。
  （共通説明書の「組立のポイント」をよくお読み下さい）

### ご使用にあたって

本製品は小型犬用の屋内ケージです。その他の犬種や動物には使用しないで下さい。小型犬は非常にデリケートな性格です。使用中（特に使用開始直後）はペットの体調管理に充分注意して下さい。ペットの体調に変化が現れたら、直ちに製品の使用を中止し、かかりつけの獣医師にご相談下さい。

### 組立てに必要な工具です。ご用意下さい。


プラスドライバー

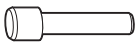
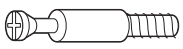
ハンマー

直接たたかず古雑誌等をあててネ！

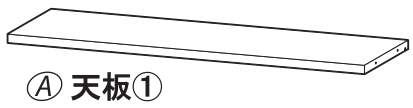
## PARTS CHECK　●最初に必要なパーツが揃っているかご確認下さい。

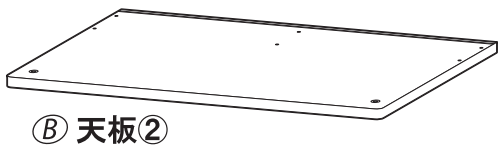
### 部品　まずは部品のチェック！

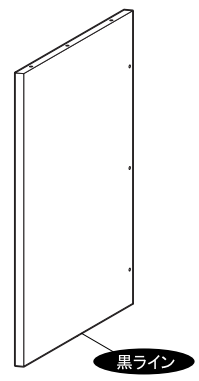
●細かい部品は、箱などにまとめると、紛失を防ぎ組立て作業がスムースです。

| かたち | なまえ | 数 | チェック |
|---|---|---|---|
| | 組立ネジ | 16 | |
| | 戸車取付ネジ | 4 | |
| | 木ダボ | 23 | |
|  | ストッパーピン | 2 | |
| | 軸受け | 2 | |
| | ボンド | 1 | |
|  | ジョイントボルト | 6 | |
| | ジョイント受 | 6 | |
| | 戸車 | 2 | |
| | コンセントキャップ | 1 | |
| | 引　手 | 1 | |
| | 引手ネジ | 2 | |
| | 床鋲 | 4 | |
| | ビスシール | 10 | |
| | フェルト | 2 | |

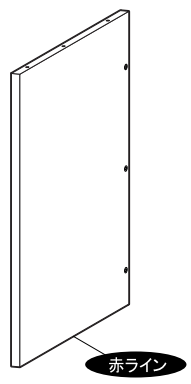
### 部材　●Ⓐ～Ⓖのパーツについては、後側に名称が印刷されています。


Ⓐ 天板①

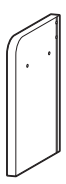

Ⓑ 天板②



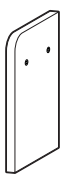
Ⓕ 左側板②

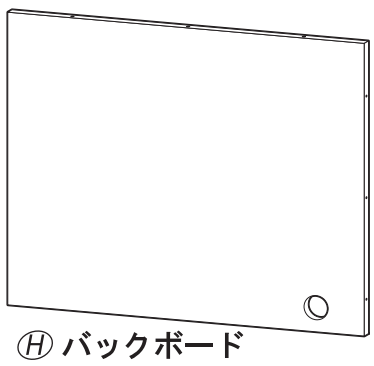


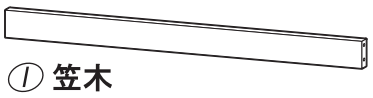
Ⓖ 右側板②

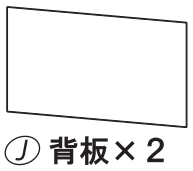

Ⓒ 左側板①

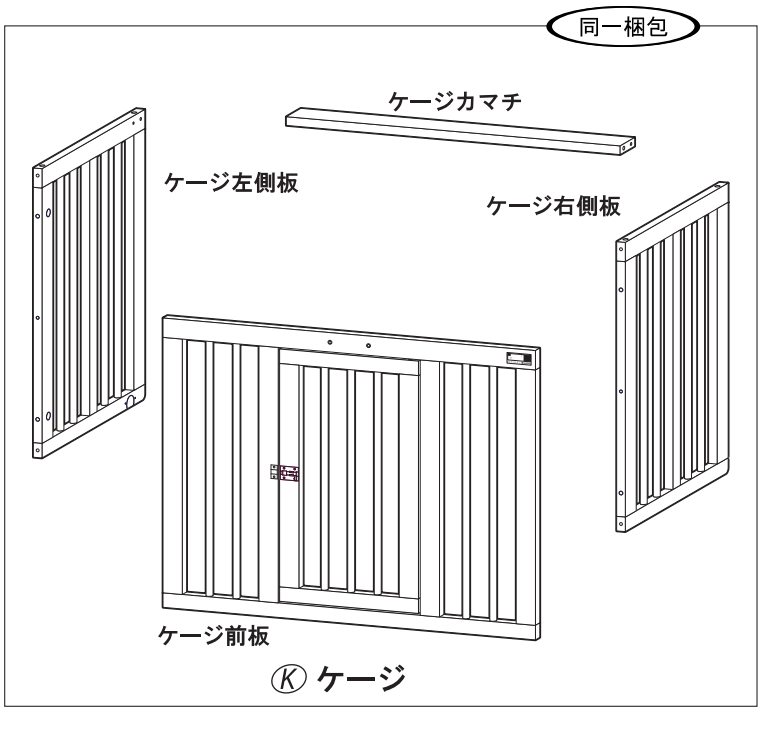
Ⓓ 中仕切


Ⓔ 右側板①


Ⓗ バックボード


Ⓘ 笠木


Ⓙ 背板×2



Ⓚ ケージ

※ⒹⒻⒼには、上下方向があります。組立 4・5・7 ではご注意下さい。

お問い合わせ

●製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら

**お手元にこの組立説明書をご用意の上、**

**0120-22-1378** までお寄せ下さい。受付時間／9:00～17:00（土・日・祝祭日は休み）

株式会社 白井産業／藤枝DC
〒426-0053　静岡県藤枝市善左衛門（ぜんざえもん）1471-2
http://www.shirai-s.co.jp/ E-mail:sri@shirai-s.co.jp

SHIRAI

# 組立てかた PET-9080NA/WH ペティリア PETYLIA

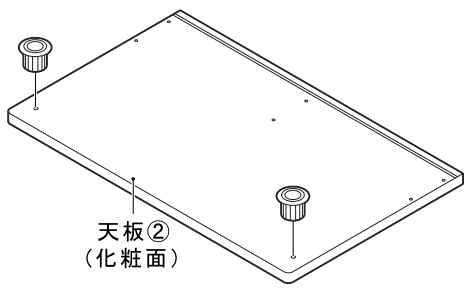
2/3

S091006-O

## 本体組立

### 1 天板②に軸受けを取付けます。

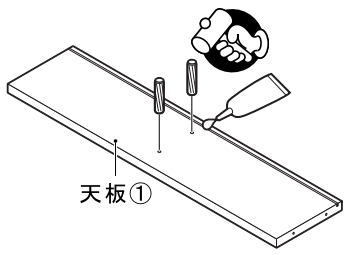
軸受け ×2

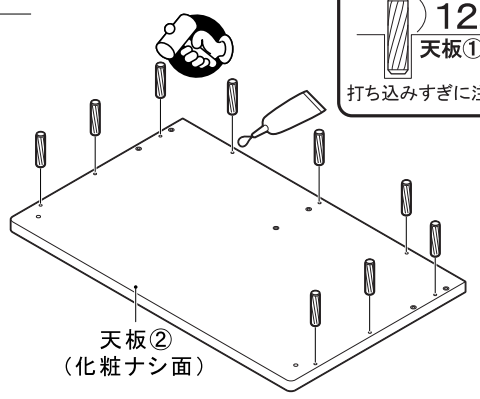



### 2 天板①②・笠木に木ダボを取付けます。

木ダボ ×15

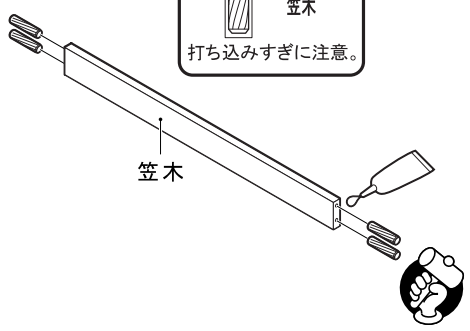
（ボンドを入れて下さい）




木ダボの目安
12ミリ
天板①②
打ち込みすぎに注意。

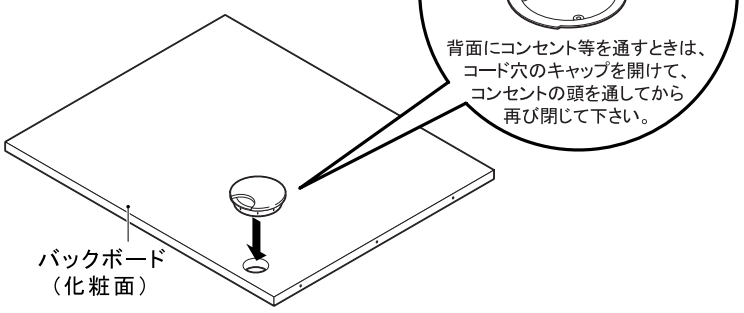
木ダボは、イラストを参照の上
正しい場所に取付けて下さい。




木ダボの目安
10ミリ
笠木
打ち込みすぎに注意。

### 3 バックボードにコンセントキャップを取付けます。

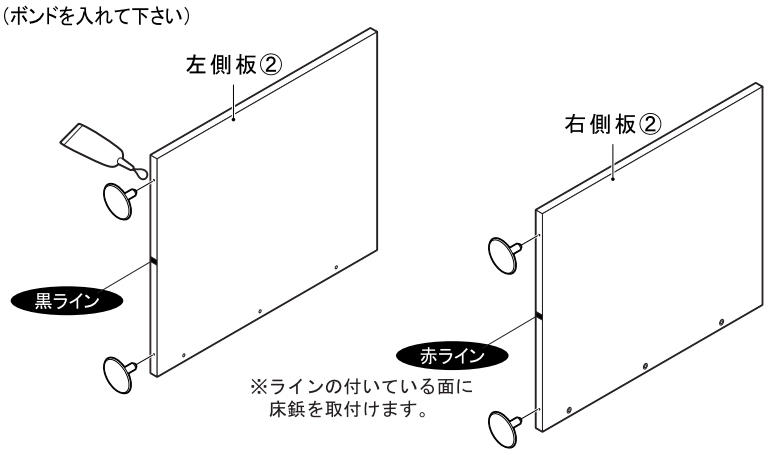
コンセントキャップ ×1




### 4 左右側板②に床鋲を取付けます。

床鋲 ×4

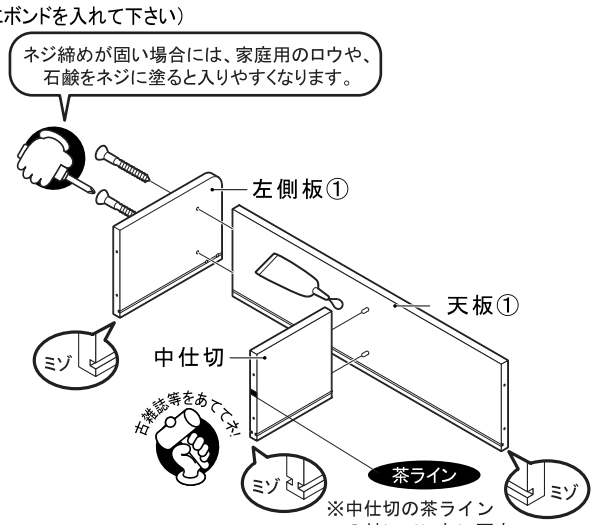
（ボンドを入れて下さい）




### 5 天板①に左側板①・中仕切を取付けます。

組立ネジ ×2

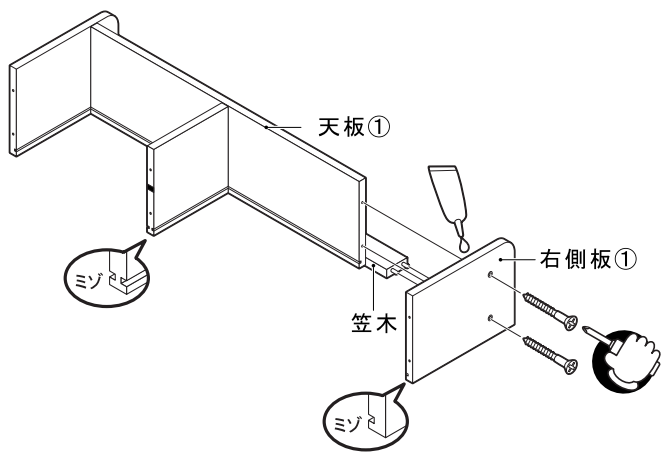
（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）




### 6 笠木を差込み、右側板①を取付けます。

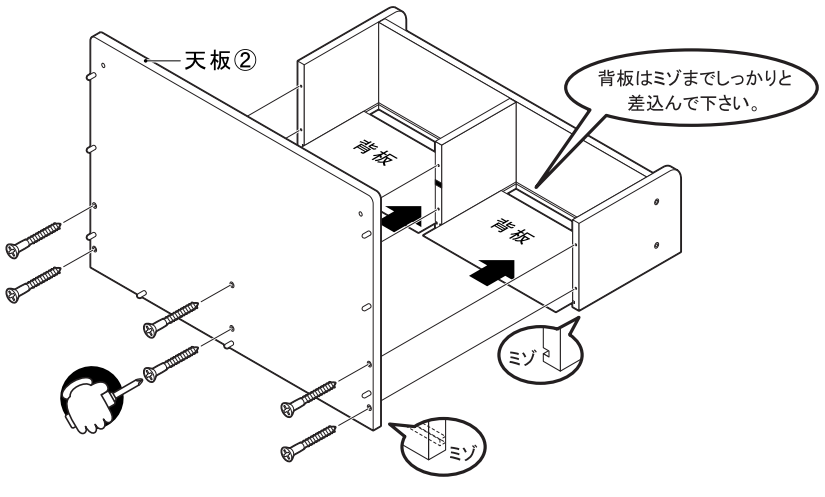
組立ネジ ×2

（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）



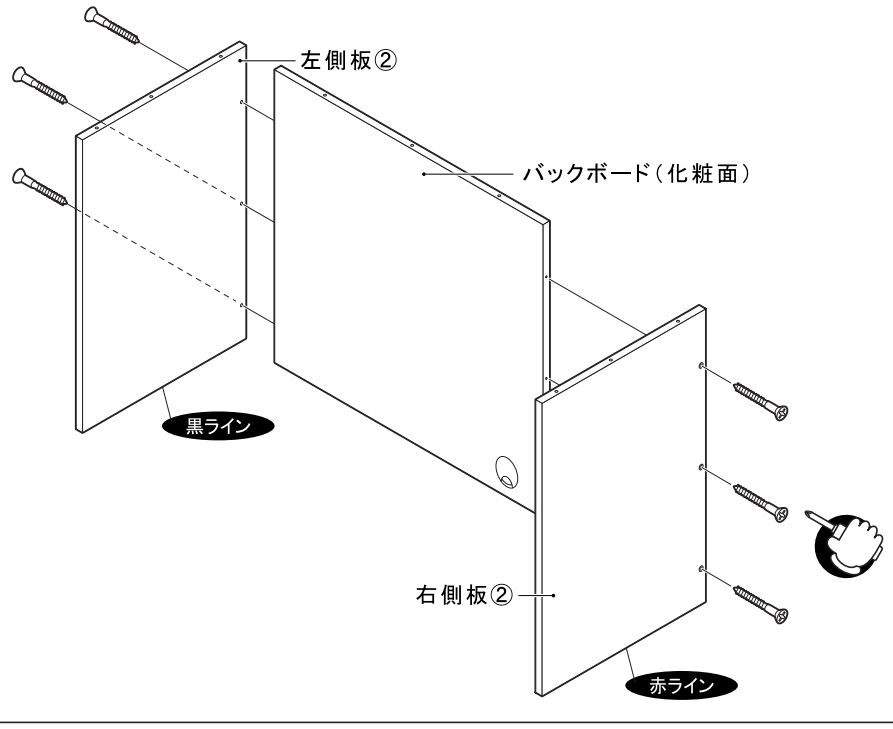

### 7 背板(×2)を差込み、天板②を取付けます。

組立ネジ ×6



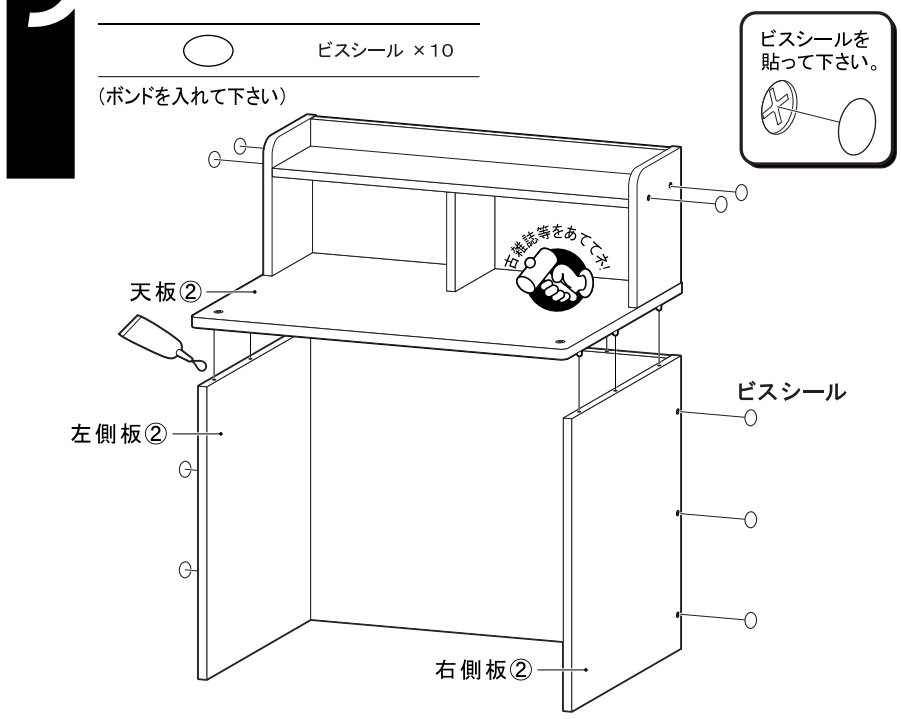

### 8 バックボードに左右側板②を取付けます。

組立ネジ ×6

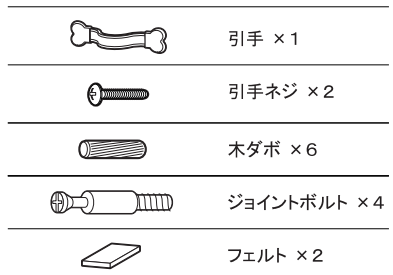


## ケージ組立

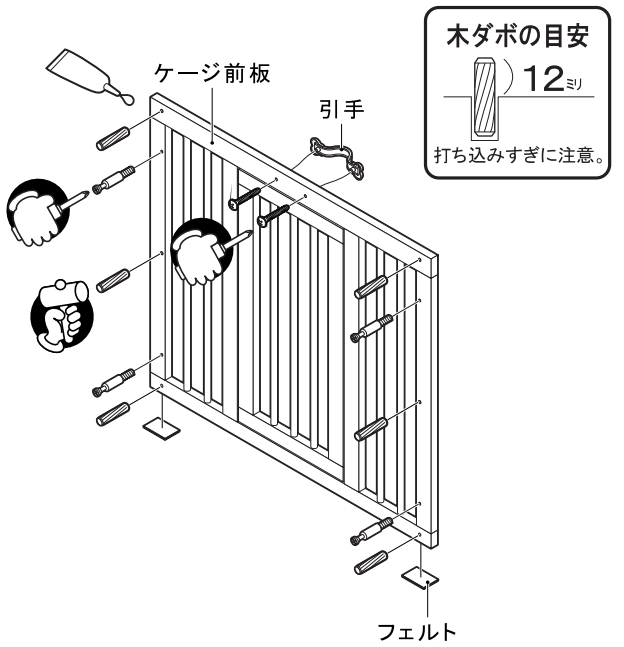
### 9 8で組立てたものに天板②を取付けます。




### 10 ケージ前板に引手・木ダボ・ジョイントボルト・フェルトを取付けます。

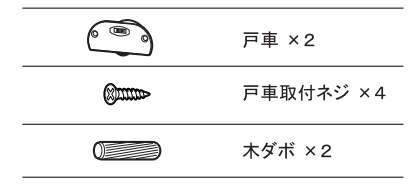



（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）

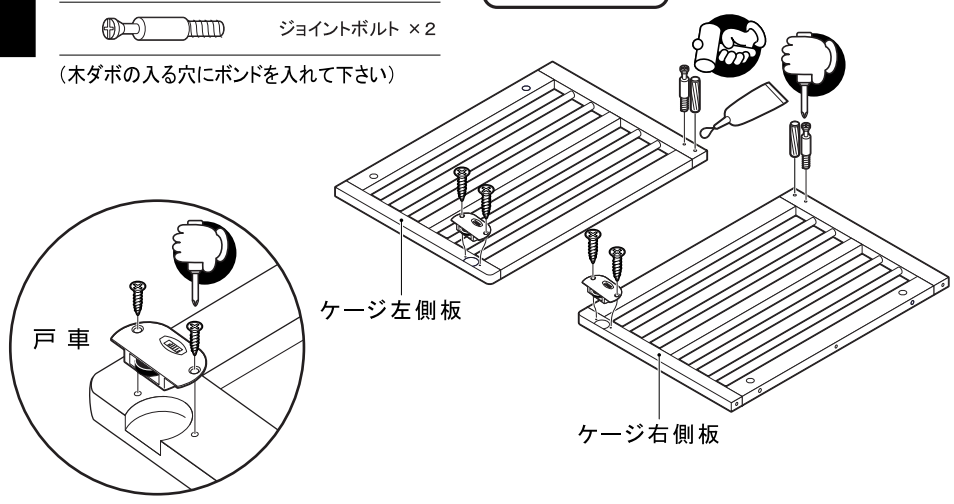



※ケージ前板の下部両端に必ず貼って下さい。

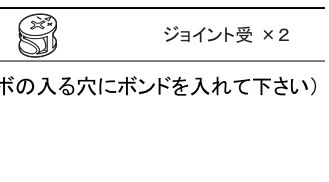
### 11 ケージ左右側板に木ダボ・ジョイントボルト・戸車を取付けます。



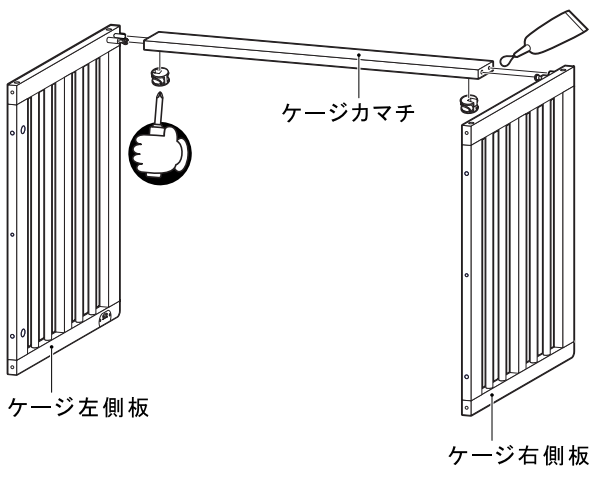

（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）

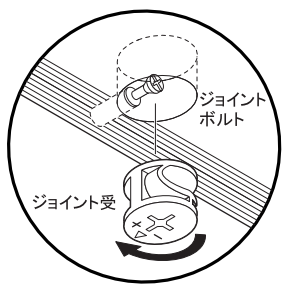



### 12 ケージカマチにケージ左右側板を取付けます。




（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）




**ジョイントの取付け方**

**ジョイントボルト・ジョイント受はケージ左右側板とケージカマチを固定させます。**

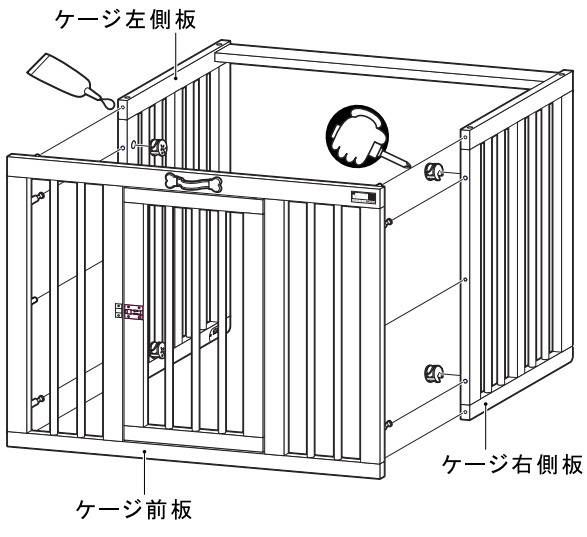
1. 取付けたパーツの穴に〈ジョイント受〉の矢印を〈ジョイントボルト〉が入ってきた方向に向けて差し込みます。
2. ⊕ドライバーで〈ジョイント受〉を右回りに止まるまでしっかりと回して下さい。（目安：120°～180°程度）

**※組立⓭でも同様に取付けて下さい。**

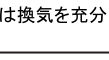
### 13 ケージ左右側板にケージ前板を取付けます。

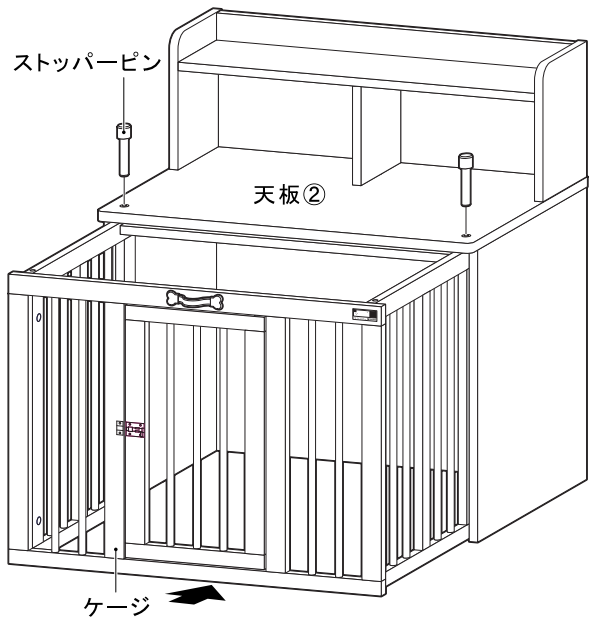



（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）




### 14 本体にケージを取付けて完成です。



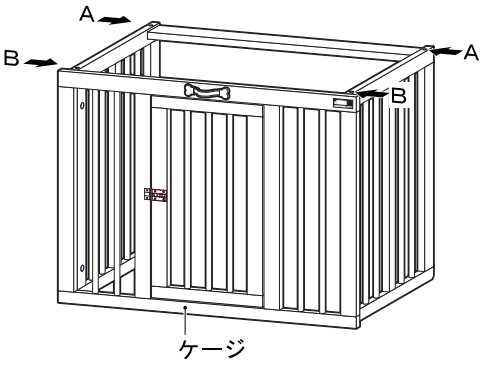




## ご使用にあたって

**本製品は小型犬用の屋内ケージです。その他の犬種や動物には使用しないで下さい。**
**小型犬は非常にデリケートな性格です。使用中（特に使用開始直後）はペットの体調管理に充分注意して下さい。ペットの体調に変化が現れたら、直ちに製品の使用を中止し、かかりつけの獣医師にご相談下さい。**

### ケージの使用方法

- ケージを出し入れする際は、ケージの前面を少し持ち上げて出し入れして下さい。
- ケージを引き出して固定する場合はAの穴、収納時に固定する場合はBの穴に、天板②の上部からストッパーピンを挿して下さい。
- ストッパーピンをなくさないようご注意下さい。




### ケージの調整方法

- ご使用中、ケージの前後方向に傾きが生じた場合、戸車の高さを上下させ、調整することができます。

ダイヤルは、指先か頭の小さなマイナスドライバーを使用してゆっくりと廻しながら調整して下さい。

### 注意

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないで下さい。▶倒れてケガをすることがあります。
- 火のそばに近づけて設置しないで下さい。▶火災の原因になります。
- **ときどき各部のネジ類がゆるんでいないか点検し、増し締めをして下さい。**▶ゆるんだまま使用すると倒れてケガをすることがあります。
- 異常を発見したら、そのまま使用せず弊社フリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。▶破損や倒れてケガをすることがあります。
- 分解や改造をしないで下さい。▶破損やケガをすることがあります。
- 水や蒸気を製品にかけないで下さい。▶製品を傷めます。（スライド棚で炊飯ジャー等を使用する際には、スライド棚を引出して下さい。）
- ごくまれに木材の接着剤に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。
  ▶肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので、使い始めには換気を充分にして下さい。

### お手入れ方法

①お手入れには、柔らかい布をお使い下さい。
②汚れを落とす場合は、カラ拭きまたは、ぬらして固く絞った布などで拭いて下さい。
③汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使って汚れを取り、ぬらして固く絞った布にて洗剤が残らないよう拭き取り、さらに仕上げは、乾いた布で水分を充分に拭き取って下さい。
※シンナー・アルコール類のご使用は避けて下さい。